

日本語教育小委員会（第20期）における審議内容について（案）

1. 今期の審議事項

「日本語教育の推進に向けた基本的な考え方と論点の整理について（報告）」（平成25年2月18日）で取りまとめた11の論点のうち、以下の検討を行う。

1) 論点3．日本語教育の標準や日本語能力の判定基準について

国内外の日本語学習者が日本語の習得段階に応じて求められる日本語教育の内容及び方法を明らかにし、外国人が適切な日本語教育を受けられ、評価できるようにするため、引き続き「日本語教育の参照枠」の策定に向けた検討を行うとともに、本年度は新たに日本語能力の判定基準について検討を行う。

2) 論点4．カリキュラム案等の活用について

「日本語教育の参照枠」の考え方を踏まえ、外国人等が日本社会で自立した言語使用者として生活していく上で必要となる日本語能力を身に付けられるよう、一定水準の学習内容を示すため、「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案について」（平成22年5月19日）の改定に着手する。

2. スケジュール 日程、内容はいずれも予定。

日程	内容	日本語能力の判定基準ワーキンググループ	標準的なカリキュラム案改定ワーキンググループ
5月14日（木） 5月20日（水）	国語分科会 (1)日本語教育小委員会（第100回） 1) 主査・副主査の選出について 2) 日本語教育小委員会の会議の公開について 3) その他(ワーキンググループの設置等)	第1回 WG	第1回 WG 調査研究
6月25日（木）	(2)日本語教育小委員会（第101回） 1) 日本語能力の判定基準について 2) カリキュラム案等の改定について 3) 「日本語教育の参照枠」一次報告案 意見募集について		
7月	<意見募集> 「日本語教育の参照枠」一次報告案について	第3回 WG	第2回 WG 報告
9月10日（木）	(3)日本語教育小委員会（第102回） 1) 日本語能力の判定基準について [中間報告(案)] 2) 「日本語教育の参照枠」一次報告案について	第4回 WG	
10月～11月	国語分科会	第5回 WG	第2回 WG
12月	(4)日本語教育小委員会（第103回） 1) 日本語能力の判定基準について		
1月	(5)日本語教育小委員会（第104回） 1) 日本語能力の判定基準について [報告(案)] 2) カリキュラム案等の改定について	第6回 WG	
2月 (予備日)	(6)日本語教育小委員会（第105回） 1) 日本語能力の判定基準について 2) カリキュラム案等の改定について		
2月～3月	国語分科会		

令和2年度日本語教育総合調査：「生活者としての外国人」のための標準的なカリキュラム案の言語能力に関する調査・研究」を実施予定。